BOSE®

OWNER'S MANUAL

# B-100Ⅱ

モービル・パワー・アンプ

このたびはボーズの車載用パワーアンプB-100Ⅱをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。本機を正しく、また性能を十分にいかしてお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでも必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

## 特長

■92%以上の高い変換効率を実現するパワーMOS FET

スイッチング電源部に92%以上の高い変換効率を誇るパワーMOS FETを採用。ステレオ使用時で定格出力50W+50W(4Ω)、モノラル使用時では200W(4Ω)の高出力を達成しました。また、電源部の大容量化によって大電流供給能力を強化するとともに、優れた高周波特性、スイッチング速度を達成しました。

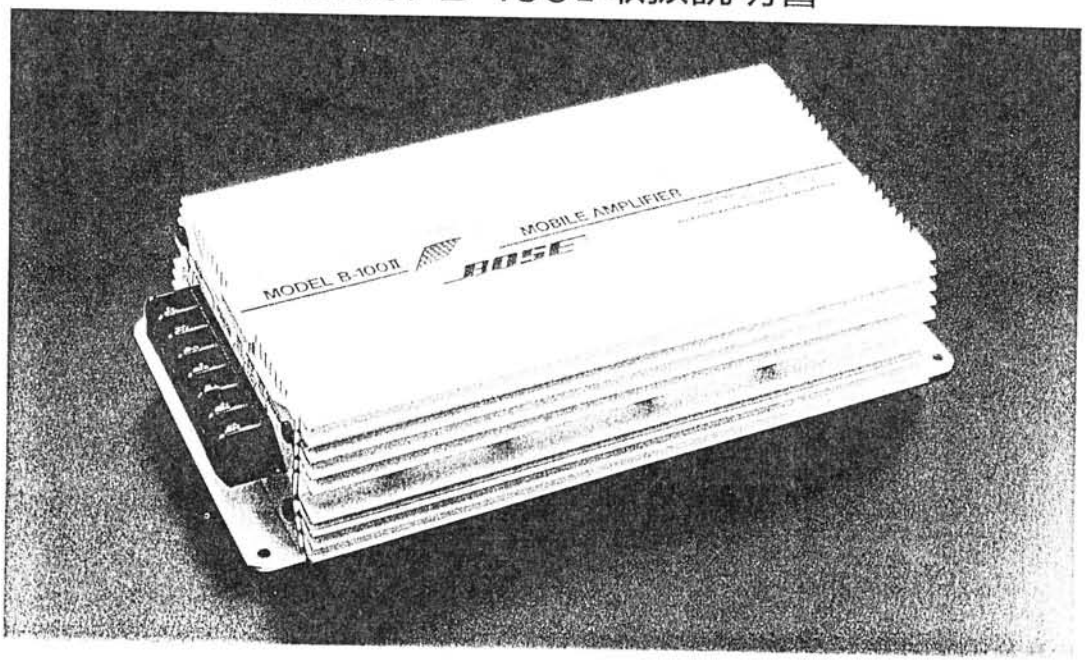
■大出力を高いクオリティで実現する左右対称ディスクリート構造

B-100Ⅱは、内部構造を左右対称のディスクリート構造にすることにより、フルパワー時の20Hz～20kHzにおいて、全高調波歪0.02%以下、混変調歪0.002%以下を達成。SN比においても110dB以上と、高出力を高いクオリティで実現しています。また、スルーレイトもステレオ使用時で40V/μsを保証し、入力信号に対する立ち上がりの良さは抜群です。

■アンプやスピーカーの破損を防ぐ、4種類の保護回路

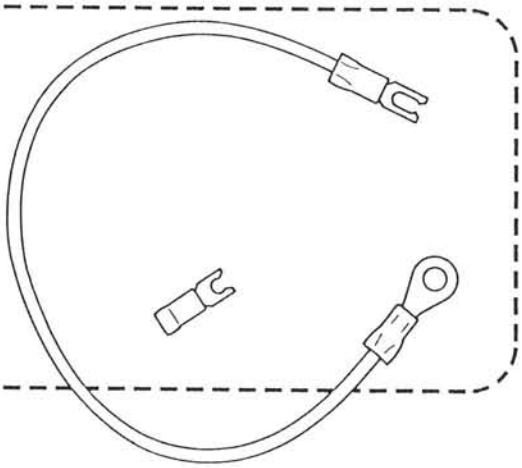
B-100Ⅱには、出力端子のショート、電源の⊕⊖の逆接続、アンプの温度上昇、バッテリーから流れ込む異常高電圧など、アンプやスピーカーの破損を防止するプロテクション回路が内蔵されています。

## Model B-100Ⅱ取扱説明書



## 付属品

アースコード＝1本
本機のグラウンド端子と車体のアースポイントを接続します。
電源コード用端子＝1個
本機の電源端子に電源コードを接続する際に使用します。



# 取り付けについて

本機の取り付けは専門のカーショップにご依頼されるようお勧めいたします。もし、ご自分で取り付けを行なう場合には、必ず本説明書にしたがって作業をお進めください。

・本機は4点支持マウント方式になっています。不安定な場所は避け、必ず4点すべてをしっかりと固定してください。

※本機を設置する場合、次のような場所には設置しないでください。性能の劣化や故障の原因となります。
・エンジンルーム内
・ヒーターのダクトの近く
・直射日光が当たる場所
・湿気や水分のあるところ。雨水などがかかるところ。

# 接続について

・ショート事故防止のために、配線作業は必ずカーバッテリーの㊀端子側のコードを外した状態で行なってください。
・金属部に配線を通す場合には、ショートを防止するためにゴム製グロメット等を使用することをお勧めいたします。

### ■電源系の配線(○数字は各部の名称をご参照ください)

・本体リアパネルのPOS(電源接続端子)⑥とカーバッテリーの㊉端子を電源コードを使って接続します。

※本体には30Aのヒューズが内蔵されていますが、アンプへの過大電流を避けるため、電源接続端子とカーバッテリーの㊉端子との間に30Aのヒューズを入れておくことをお勧めいたします。また、電源コードは安定した電流供給を確保するため、できるだけ太いものをご使用ください。

・付属のアースコードを使って、本体リアパネルのNEG(グラウンド端子)⑦と車体のアースポイントに確実に接続します。

※付属のアースコード以外をご使用の際は、ノイズ防止のためできるだけ短くすることをお勧めいたします。

### ■TURN-ON端子の接続

本体の電源のON/OFFを行なうための端子です。この端子に㊉12Vがかかっている間、本体の電源がONになります。
・本体リアパネルのTURN-ON(リモート端子)⑧をヘッドユニットのリモート出力と接続します。ヘッドユニットにリモート出力がない場合には車体のACC端子などをご利用ください。

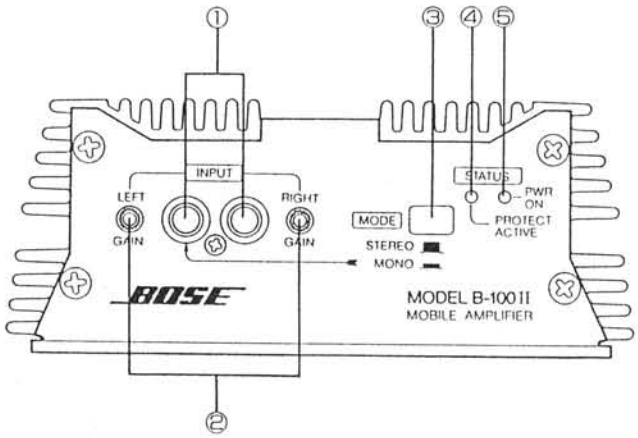
※この端子に常時㊉12Vをかけますと、本機の電源が切れなくなりバッテリー上がりなどの原因となります。

# 開梱時のご注意

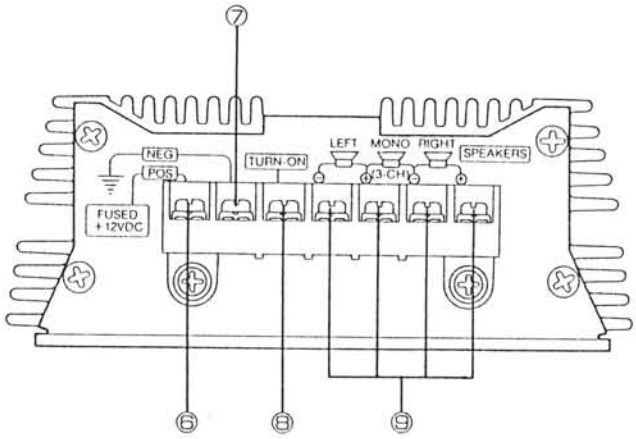
もし開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときには、そのままの状態を保ち、ただちにお近くの販売店か取扱店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

# 各部の名称と機能

**フロントパネル**




**リアパネル**




## ●フロントパネル

### ①INPUT＝信号入力端子

RCAピンジャックです。ヘッドユニットからのローレベル信号をRIGHT（右チャンネル）、LEFT（左チャンネル）それぞれに入力します。

### ②INPUT GAIN＝入力レベル調整ボリューム

入力する信号の大きさをRIGHT（右チャンネル）、LEFT（左チャンネル）それぞれに調整します。左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がります。

### ③MODE＝ステレオ/モノラル切替スイッチ

スイッチを押し込んだ状態でモノラルになり、スイッチが出ている状態でステレオになります。

### ④PROTECT ACTIVE＝プロテクト・インジケーター

スピーカーのショートや加熱などアンプに負担がかかったときに赤いランプが点灯し、保護回路が働いたことを知らせます。

### ⑤PWR ON＝パワーインジケーター

電源が入ると緑のランプが点灯します。

## ●リアパネル

### ⑥POS＝電源接続端子

バッテリーの⊕端子に接続します。

### ⑦NEG＝グラウンド端子

付属のアースコードを使って、車体のアースポイントなどに接続します。

### ⑧TURN-ON＝リモート端子

ヘッドユニットのリモート出力等を接続します。

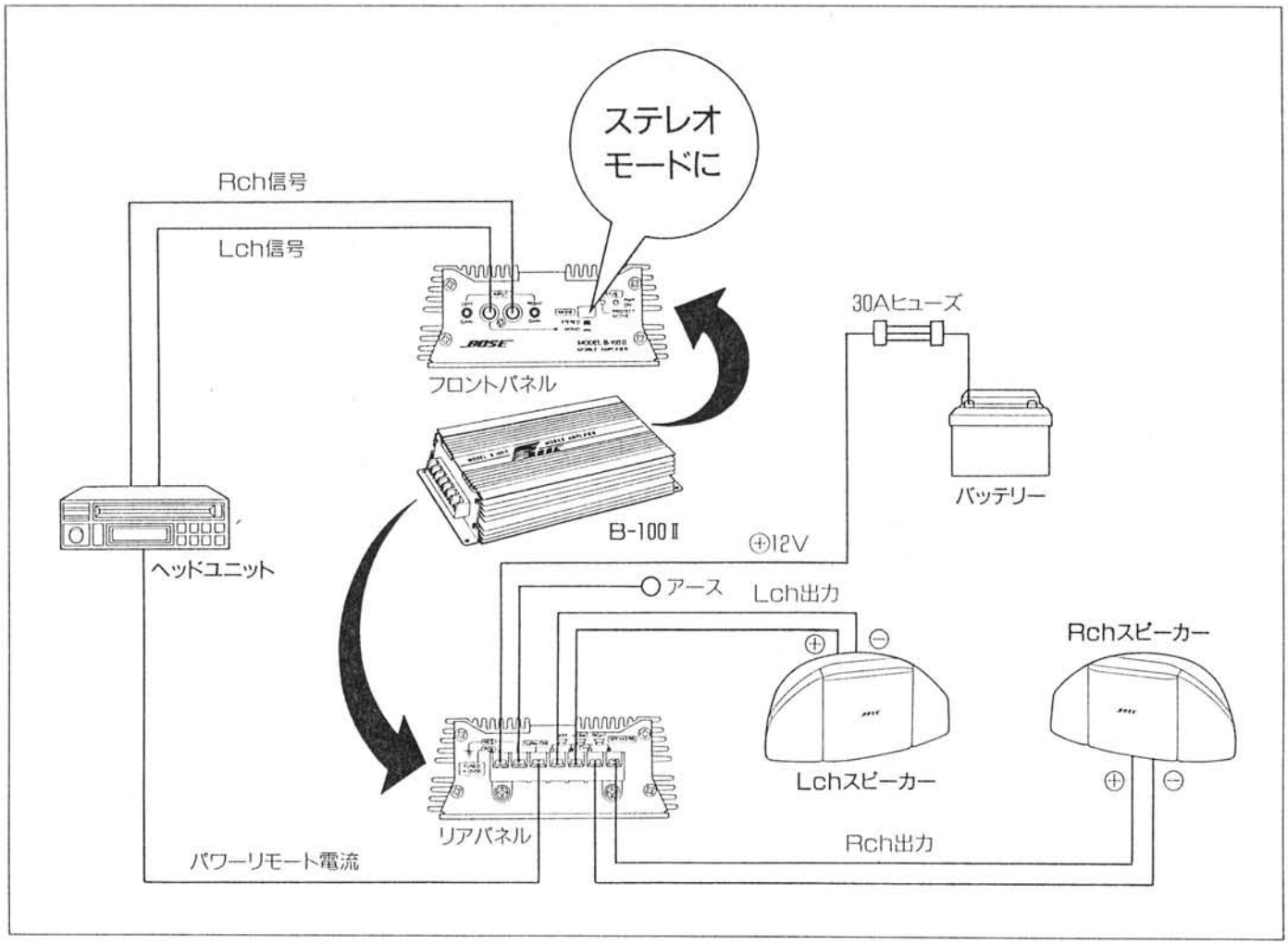
### ⑨SPEAKERS＝スピーカー出力端子

スピーカーと接続します。LEFTは左チャンネル、RIGHTは右チャンネルのスピーカー用の端子です。本機をモノラル駆動させるときには、スピーカーをMONOに接続します。

# スピーカーの接続

## ■ステレオで使用する場合

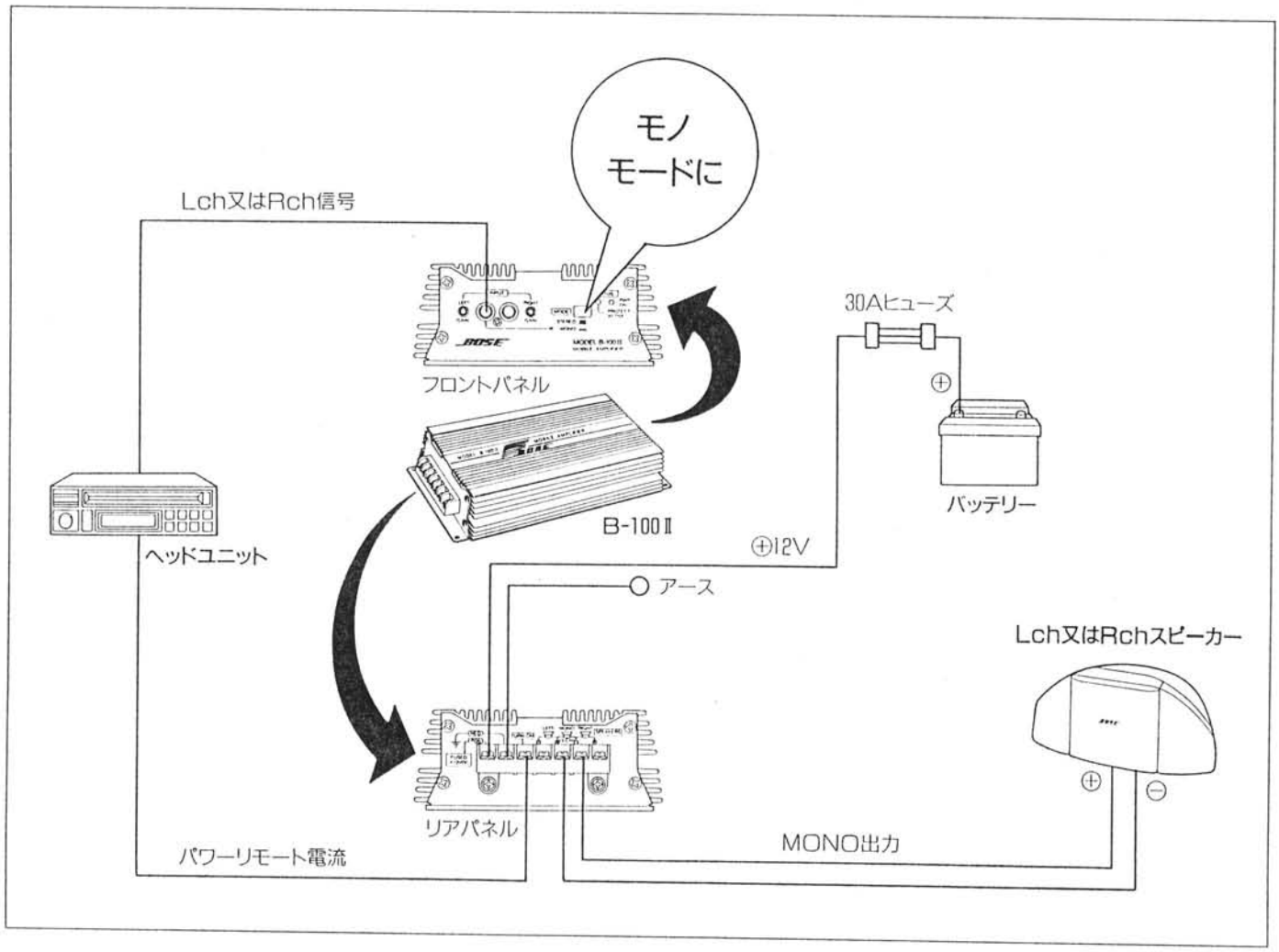
本機スピーカー出力端子⑨とスピーカーを接続します。この際、アンプのLEFT(左チャンネル)/RIGHT(右チャンネル)とスピーカーのL/R、⊕/⊖の極性を十分確認して接続してください。



■モノラルで使用する場合

本機のMODEスイッチ③を押し込み、モノラル駆動に設定します。

本機スピーカー出力端子⑨の内側の2つの端子(LEFTの⊕とRIGHTの⊖)とスピーカーを接続します。この際、⊕、⊖の極性を十分確認して接続してください。




# ライン信号ケーブルの接続

デッキなどのヘッドユニットからの信号を本機のフロントパネルにある入力端子①に接続します。この際、入力端子の左チャンネル(LEFT)、右チャンネル(RIGHT)とヘッドユニット側のL/Rを十分確認してください。

モノラルで使用する場合には、左チャンネル(LEFT)端子に入力してください。

# システム調整について

システムの調整を行なう前に再度接続を確認してください。すべてのネジ類、接続コード類が確実に装着されているか、確認してください。装着が完全なことが確認できたら、作業を行なう前に外しておいたバッテリーの㊀端子を元の状態に戻し、車のキーを“ACC”(もしくはON)の状態にします。

## ■音量の調整

A. 本機の入力レベル調整ボリューム㉒を含むすべてのシステムのボリュームを最小の状態にします。

B. ヘッドユニットのスイッチをONにします。この時バランスとフェーダーコントロールは中央の位置に合わせておきます。

C. 本機のパワーインジケーター⑤が緑色に点灯しているか、確認します。

D. ヘッドユニットのボリュームをゆっくりと上げていき、左右のスピーカーから音が正常に再生されているかを確認します。

E. 正常に再生されていることが確認できたら、次にヘッドユニットのボリュームを60%程度まで上げ、本機の入力レベル調整ボリューム㉒を徐々に上げていき、スピーカーから再生される音が歪まず、かつ十分な音量が得られる位置に設定します。

> ※入力レベル調整ボリュームを少し上げただけで再生音が歪んでしまう場合は、ヘッドユニットのボリュームを低めに設定してください。

F. 音量の調整が終了したら、ヘッドユニットの電源をOFFにするか、車のイグニションスイッチをOFFにしたときに本機のパワーインジケーターが消灯し、電源が切れることを確認してください。

# トラブルシューティング

下記に示す症状はプロテクト機能が働いて生じたものです。あてはまる原因を確かめて、その対策および処理に従ってください。

| 症　　状 | 原　　因 | 対策および処理 |
|---|---|---|
| パワーインジケーターが消えて、プロテクトインジケーターが点灯し、30秒間動かなくなる。 | 指定のインピーダンス(2Ω～16Ω)以外のスピーカーを使用した。または、ショートした場合。 | 自動的に電源が入り、正常に作動を始めますが、使用スピーカーを変更しない限り、この動作を操り返します。<br>結線を確かめてください。正常であればスピーカーの適合インピーダンスを確認し、不適合であれば交換します。 |
| | スピーカー端子に直流電流が流れこんだ。(スピーカー端子に電源コードを接続してしまった場合) | 自動的に電源が入り、正常に作動を始めますが、電源コードをつなぎかえない限り、この動作を繰り返します。<br>電源コードを正しくつなぎ直してください。 |
| オーバーヒートしてパワーインジケーターが消え、プロテクトインジケーターが点灯する。 | 本機が95℃以上になった。 | 安全作業温度にもどるまでは作動しません。温度が正常にもどると自動的に電源が入り、作動復帰します。<br>ただ、帯熱しやすい場所へ設置されていると再びオーバーヒートをおこすので、放熱の良い場所へ設置をし直してください。 |
| インジケーターが両方とも点灯せず完全に止まる。 | 本機に過大電圧(17.2Vを超える電圧)が加わった。<br>※バッテリー電圧の正常値は12V。 | 車側のボルテージレギュレーターか、オルタネーターに欠陥がある場合が多いので、車のバッテリーを交換するか、ヘッドユニットのデッキを交換します。 |
| 本体内部のヒューズがとぶ。 | 電源の極性を誤ってつないだ。 | 正常な使用でヒューズがとぶのはこの場合だけです。販売店もしくは弊社サービス担当までご連絡ください。 |
| チューナーやデッキ側のボリュームを上げても音がでない。 | 入力レベル調整つまみが絞った状態になっている。 | 「適性レベルの設定」の項にしたがって、入力レベル調整つまみを上げてください。 |

# 仕　様

| | |
|---|---|
| 対応インピーダンス | 2Ω～16Ω |
| 定格出力 | 50W×2(ステレオ時、4Ω) |
| | 200W(モノラル時、4Ω) |
| S　N　比 | 110dB以上(IHF-A) |
| 全高調波歪率 | 0.02%以下(20Hz～20kHz：定格出力時) |
| 混変調歪率 | 0.002%以下 |
| 入力感度 | 250mV～2.5V(可変) |
| スルーレイト | 40V/μs以上 |
| 消費電流 | 最大22A、4Ω時 |
| サイズ | 260(W)×57(H)×152(D)mm |
| 重量 | 2.2kg |
| 付属品 | アースコード(1本)、電源コード用端子(1個) |

# 保　証

通常の使用状態において発生した故障に関しては、1年の保証をさせていただきます。本機を分解したり、改造を行いますと、期間中でも保証が受けられなくなりますので、ご注意ください。

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品につきましては、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

BOSE
Better sound through research.
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-1 三進ビル TEL03-3499-0179

93.9-0.4K-1(I-M)